



# 2019(第12回)ファルド シリーズ アジア 日本大会

## 競技の条件

### 1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則及び本競技ローカル・ルールを適用する。

### 2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

### 3. クラブと球の規格

#### (1) 適合ドライバーヘッドリスト

プレーヤーがストロークを行うために使うドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド（モデルとロフトで識別される）を持つものでなければならない。

このローカル・ルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格。

#### (2) 溝とパンチマークの仕様

ストロークを行うとき、プレーヤーは 2010 年 1 月 1 日に施行された用具規則の溝とパンチマークの仕様に適合するクラブを使わなければならない。

このローカル・ルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格。

#### (3) 公認球リスト

ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていない球でなければならない。

このローカル・ルールに違反して最新のリストに掲載されていない球でストロークを行ったことに対する罰：失格。

### 4. プレーの条件

3 日間、54 ホールズ・ストロークプレーとする。但し、2 日目 (36H) 終了時、各カテゴリーにおいて予選カットをするものとする。各予選通過選手の人数は 12 月 5 日（木）の朝、公式掲示版に掲示発表する。

また、天候その他不測の事態が生じた場合は、競技委員会の判断により競技方法（プレーの条件）を変更する場合がある。

### 5. タイの決定：

各部門とも規定のホールを終わり、1 位がタイの場合は、即日委員会の指定するホールにおいてホールバイホールのプレーオフを行い優勝者を決定する。

なお、3 名以上でプレーオフが行われる場合、優勝者以外のプレーヤーは 2 位タイとする。

### 7. 移動

委員会が別途認めた場合を除き、プレーヤーは、正規のラウンド中、いかなる移動用の機器にも乗ってはならない

### 8. キャディー

規則 10.3a は次のように修正される：プレーヤーはラウンド中キャディーを使用してはならない。



## 9. ホールとホール間の練習

2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない：

終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのパッティンググリーンの表面を擦ったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。 ローカル・ルールの違反の罰：一般の罰。

## 10. 競技終了時点

競技委員会による成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

## 11. 各カテゴリーの使用ティマーク

- |                |          |      |
|----------------|----------|------|
| ① 19歳～21歳の部／男子 | 6,885ヤード | 黒マーク |
| ② 17歳～18歳の部／男子 | 6,885ヤード | 黒マーク |
| ③ 12歳～16歳の部／男子 | 6,641ヤード | 青マーク |
| ④ 17歳～21歳の部／女子 | 6,026ヤード | 白マーク |
| ⑤ 12歳～16歳の部／女子 | 6,026ヤード | 白マーク |

## 12. プレーの中断と再開

(1) プレーの中断（落雷などの危険を伴わない気象状況）については、  
ゴルフ規則 5.7 に従って処置をすること。

(2) 陰悪な気象状況にあるため、競技委員会の決定によりプレー中断となった場合、

同じ組の競技者全員がホールとホールの間に行った時は、各競技者は競技委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、競技委員会よりプレーの再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。

競技者がすぐにプレーを中断しなかった時は、ゴルフ規則 5.7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。

この条件の違反の罰は競技失格となる。

(3) プレーの中断と再開の合図について

陰悪な気象状況による即時中断：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

通常のプレー中断：短いサイレンを繰り返し通報する。

プレーの再開：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

または本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

## 13. 表彰について

(1) 各カテゴリーごとに優勝と第2位を表彰する。

(2) 全参加選手の中で最優秀選手（3日間の合計での最少ストローク）を1名表彰する。

なお、該当する選手にタイが生じた場合は3日目のスコア「マッチング・スコアカード方式」により決定する。それでもなお、決まらない場合は、2日目のスコア「マッチング・スコアカード方式」により決定する。それでもなお、決まらない場合は、1日目のスコア「マッチング・スコアカード方式」により決定する。

## 14. 記念品：タオル（予定）

付記：各カテゴリー優勝者に、2019/20 ファルドシリーズアジア決勝大会（2020年3月ベトナム・ダナン、ラグーナ・ゴルフ・ランコー）への参加資格を付与する。

（注）上記参加資格の付与にあたっては、それぞれの競技に必要となる他の参加資格を満たすことを条件とする。



◆ローカル・ルール

1. アウト・オブ・バウンズ（OB）の境界は白杭をもって標示する。
2. 白線で標示してある区域は修理地とする。プレーヤーの球がその区域内にある場合や、その区域がプレーヤーのスタンスや意図するスウィングの区域の妨げとなる場合には、プレーヤーは規則 16-1 による救済を受けることができる。
3. ペナルティーエリアの境界縁は赤杭又は地面に塗られた赤線（黄杭又は地面に塗られた黄線）で標示し定める。ペナルティーエリアを示すために杭と地面に塗られた線の両方が使われている場合、杭はペナルティーエリアを示し、地面に塗られた線はペナルティーエリアの境界縁を定める。
4. 下記物件はゴルフ規則 16-1 の「動かさない障害物」とする。  
マンホールの金網、コース内の道路及・通路に接した人口の排水路、ボール止めの網、固定スプリンクラーヘッド、その他の人工施設物。
5. 動かさない障害物による障害からの救済はゴルフ規則 16-1 により受けることができる。  
加えて、球がグリーン外ゼネラルエリアにある場合で、動かさない障害物がグリーン上又はグリーンから 2 クラブレンジス以内にあり、球からも 2 クラブレンジスの範囲内で、しかも球とホール間のプレーの線にかかっている時は、その球を拾い上げて、ホールに近づかずに障害物の介在が避けられるハザード上でもない場所で、球のあった箇所にもっと近い所にドロップすることができる。その拾い上げた球はふくことができる。
6. 樹木の巻物施設はコースと不可分の部分とする。
7. 後方線上の救済  
後方線上の救済を受ける場合、プレーヤーが関連する規則によって求められる救済エリア内に球をドロップしたが、その球がその救済エリアの外に止まった場合、その球をドロップしたときに最初に地面に触れた箇所から 1 クラブレンジス以内にその球が止まっているのであれば、追加の罰はない。  
この罰の免除は、球が基点よりホールに近い所からプレーされていたとしても、元の球の箇所や、球がペナルティーエリアの縁を最後に横切ったと推定した地点よりホールに近づいてプレーしていなければ、適用する。
8. レーザー・GPS 等を用いた距離のみを測定する機器を使用することができる。  
距離計測機がプレーヤーのプレーに影響を及ぼす可能性のあるその他の条件(標高変化、風速など)の計測機能を使用した場合は、ゴルフ規則 4.3 に基づき罰を受ける。



◆注意事項

1. プレーの条件、競技の条件及びローカル・ルールに追加・変更があるときは、公式掲示板またはスターティングホールにて掲示して告示する。
2. 組合せスタート時間は別紙（別送）の通りとする。欠席者があった場合は、組合せ及びスタート時刻を変更する場合がある。欠席する場合は、必ずコースに連絡をすること。
3. プレーヤーは、スタート50分前には受付を済ませること。またスコアカードは、スタート時刻15分前に組み合わせ上の選手全員が揃って所定の位置にて受領すること。  
静ヒルズCC：＜組み合わせのスタートホール＞
4. スコアカードは、指定されたものを競技運営委員より受領し、プレー後アテストを終え、カード提出エリアにて競技運営委員に手渡すこと。
5. プレーのペースについて。ハーフラウンド2時間15分以内とする。特に理由もなく先行の組と1ホール以上空けると、1回の警告後、その組全員にペナルティー（2打罰）を科す。（トラブルがあつて遅れた場合、その組全員でその遅れを取り戻すよう努力をする義務がある）
6. コールオンを採用する。ショートホールにおいて後続の組がティーインググラウンドで待っている時には、前の組との間隔を考慮したうえで全員の球をマークして拾い上げ、競技者の判断で後続の組にティーショットを打たせることが出来るものとする。これに応じた後続組の各プレーヤーは自分の球が先行組のプレーの妨げになったり援助になるときは球を拾い上げて良いと先行組に許可を与えたものとする。
7. 本競技はセルフ・歩きプレーとする。ただし、手引きカートの使用は認めるものとする。
8. コース内での携帯電話の使用は禁止する。  
※重大なエチケット違反と判断される場合は、競技失格となることがある。
9. 正規のラウンド中（ハーフターンの時も正規のラウンド中）、ギャラリー等との接触においてアドバイズとみなされる行為があつた場合は、ペナルティーを科すので注意すること。
10. 競技参加者の氏名・成績等は、ゴルフダイジェスト社のホームページ・携帯サイト・その他雑誌等に掲載されることがあります。また、参加された方には翌年の競技の案内を送付させていただきますのでご了承ください。

競技委員長  
長峰 全